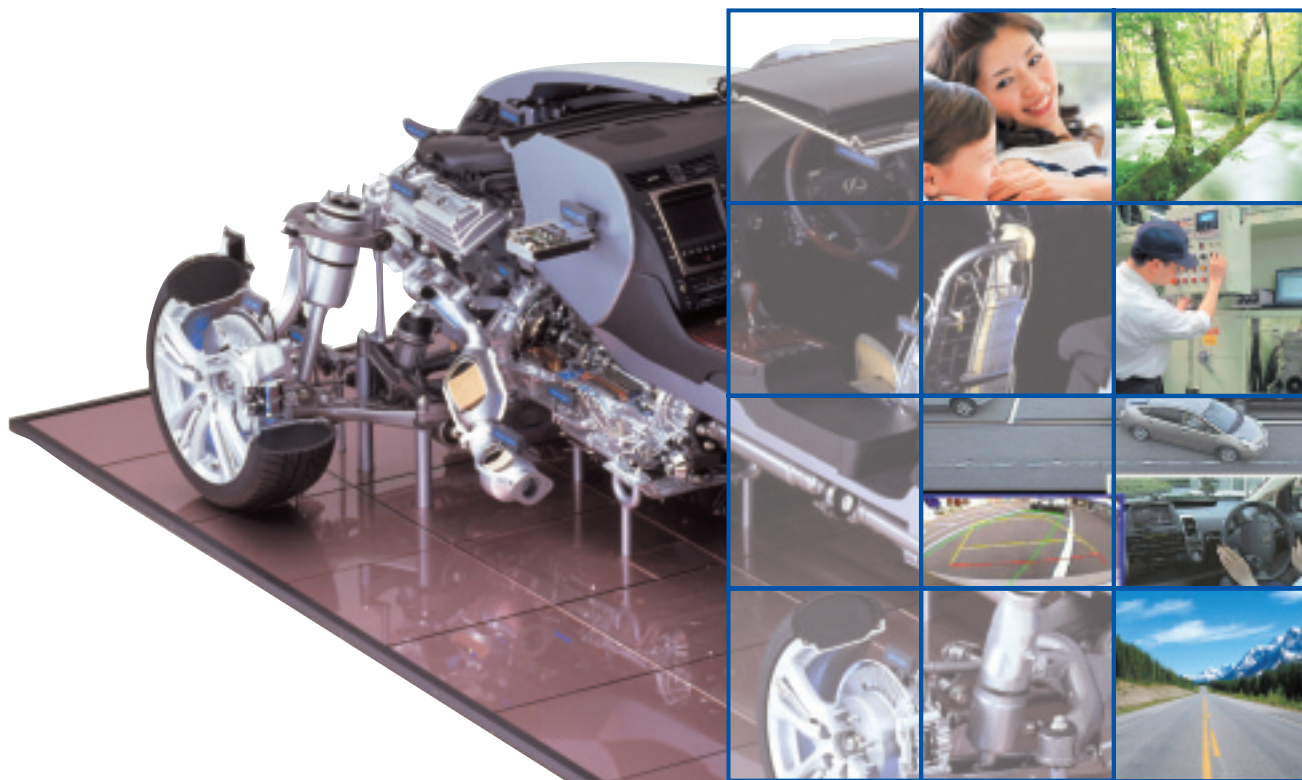


AISIN

株主のみなさまへ

第85期 報告書

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで



アイシン精機株式会社

生産技術センターを開設



生産技術センター外観



生産技術スタッフ育成のようす

アイシンはこれまで、“需要のあるところで生産する”という考えのもと、世界各地で積極的に生産拠点の増強を図るとともに、販売・開発体制を拡充し、グローバル化を進めてきました。

グローバル市場での事業活動をさらに拡大する上では、「ものづくり」力の向上が重要と考え、このたび生産技術力の強化を図るため、「生産技術センター」を本社隣接地に新設しました。

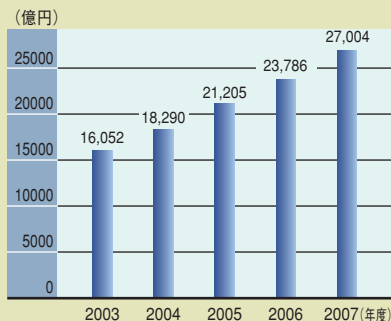
ここにアイシングループの生産技術に係わる機能を集約し、新工法や革新的な設備など、幅広い技術開発に取り組み、独自の工法・設備・生産システムなどの自社開発を促進します。さらに、シンプルでスリムな設備・型の内製化の促進や、量産前のラインの事前検証機能を強化し、グローバル展開の中核拠点として活用していきます。

また、アイシンの「ものづくり」を世界中に展開するための優れた生産技術スタッフの育成も、この生産技術センターを中心に力を注いでいきます。

財務ハイライト

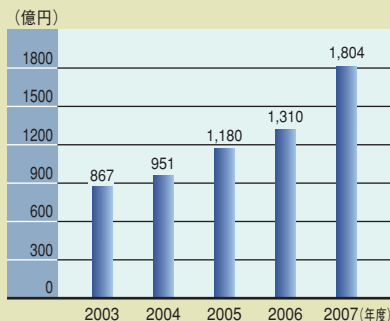
売上高

27,004億円 (前期比 13.5%増)



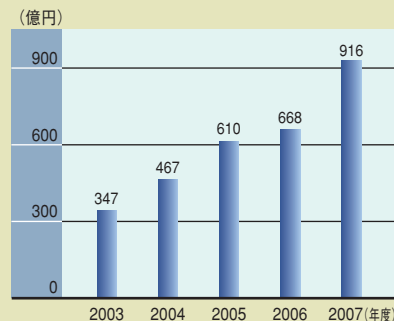
営業利益

1,804億円 (前期比 37.7%増)



当期純利益

916億円 (前期比 37.0%増)





取締役会長
豊田 幹司郎

取締役社長
山内 康仁

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

当社第85期報告書をお届けするにあたり、ごあいさつ申し上げます。

当期（平成19年4月1日から平成20年3月31日まで）の売上高は2兆7,004億円と前期に比べ13.5%の増収となりました。利益面では、経常利益は前期に比べ38.7%増の1,863億円となりました。当期純利益は、前期に比べ37.0%増の916億円となりました。

期末配当金につきましては、1株につき36円とさせていただきます。これにより、当期の配当金は、昨年11月の中間配当金1株につき24円とあわせ、年間としては前期に比べ20円増配の1株につき60円となります。

金融市場の変調や急激な為替変動、原材料・資源の逼迫など、依然として多くの不安定要素を抱えています。また、自動車業界においては、北米や日本市場における減速懸念に加え、世界的な環境規制の強化など、生き残りをかけた開発競争が激化しており、事業

を取り巻く環境は一段と厳しさを増しています。このような中で、「信頼と感動」を世界中のお客様にお届けできるよう新技術・新工法・新商品の開発および拡販に努め、グループ総力の結集により、新たな成長に向けた取り組みを加速していきます。

さらに、社会から信頼される人・企業として、企業活動の全てにわたり、絶えず社会との共生を意識した行動を徹底し、調和ある成長と社業の発展に努めていきます。

株主のみなさまにおかれましては、引き続き変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年6月

ユーザーニーズに即した商品開発力で多彩な事業を展開

多様化するユーザーニーズに的確に応え信頼を獲得するため、グループ各社が得意分野を活かした技術開発体制で、魅力ある商品の創出に積極的に取り組んでいます。

自動車関連製品

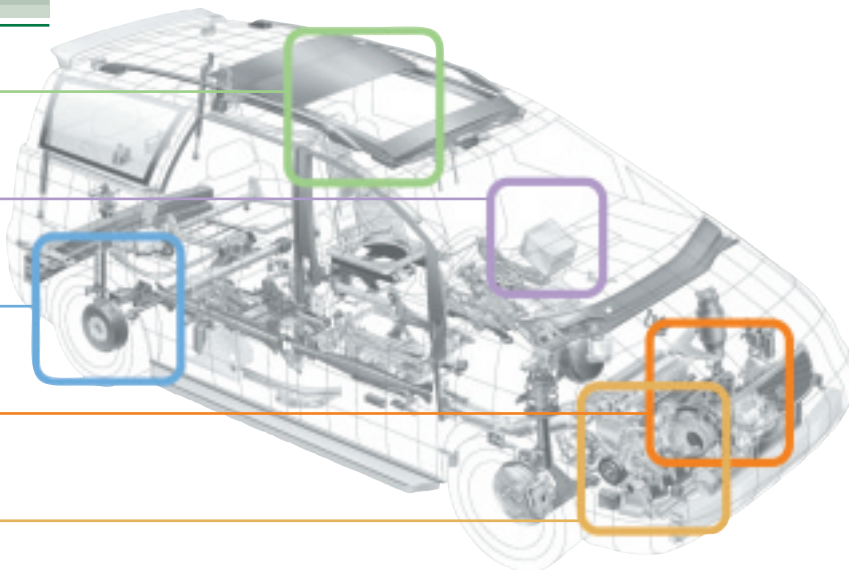
ボディ関連

情報関連他

ブレーキ及びシャシー関連

ドライブトレイン関連

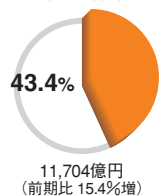
エンジン関連



ドライブトレイン関連

- オートマチックトランスミッション (AT)
- マニュアルトランスミッション (MT)
- オートメーテッド マニュアルトランスミッション
- 無段変速機 (CVT)
- ハイブリッドシステム
- クラッチディスク・カバー

売上高および構成比率
(2007年度)

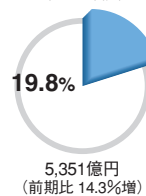


売上の4割を占める主力事業であり、軽自動車から小型・中型トラックおよびバス、産業車両用まで業界一の品揃えを誇ります。ATは専門メーカーとして世界トップクラスのシェアを継続しています。

ブレーキ及びシャシー関連

- ブレーキマスターシリンダー
- ディスクブレーキ
- ドラムブレーキ
- アンチロック ブレーキ システム (ABS)
- ESC (横滑り防止装置)
- エアサスペンションシステム

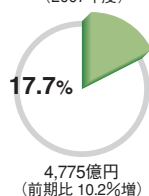
売上高および構成比率
(2007年度)



事故を起こしにくく、危険回避をしやういクルマづくりのために、先進の技術を駆使し、「走る」・「曲がる」・「止まる」を融合した高性能で高品質なシステム商品を開発しています。

ボディ関連

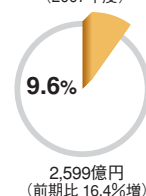
- ドアロック
- サンルーフ
- ドアフレーム
- パワースライドドアシステム
- パワーシート
- ドアハンドル
- パワーバックドアシステム
- 体重検知センサー

売上高および構成比率
(2007年度)

快適性・利便性・安全性など機能性の追求はもとより、デザイン性向上や軽量化に取り組み、お客様のカーライフの充実に貢献する商品を他社に先駆けて提供しています。

エンジン関連

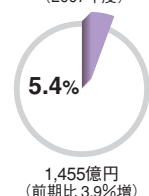
- ウォーターポンプ
- インテークマニホールド
- オイルポンプ
- エキゾーストマニホールド
- ピストン
- 可変バルブタイミング機構 (VVT)

売上高および構成比率
(2007年度)

エンジンまわりの機能部品や鋳造部品を幅広く手がけており、エンジントータルの視点で、軽量化・排出ガスのクリーン化・省燃費に貢献できる技術開発を推進しています。

情報関連他

- カーナビゲーションシステム
- インテリジェント パーキング アシスト
- 駐車アシストシステム
- フロント&サイドモニターシステム
- レーン逸脱報知システム
- ドライバモニターシステム

売上高および構成比率
(2007年度)

カーナビゲーションシステムや画像処理技術を活かした駐車支援システムなど、安全・快適なカーライフをサポートする商品を開発。カーナビゲーションは日本はもとよりグローバル市場での拡販活動により世界トップクラスのシェアを誇ります。

粗形材関連

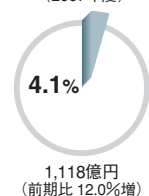
- アルミダイキャスト製品
- 鋳鉄製品
- プレス製品
- 樹脂成形品
- マグネシウムダイキャスト製品

アイシングループ内の
内部取引により相殺

グループ各社がさまざまな分野の粗形材技術を有している強みを活かし、新技術・新工法開発に積極的に取り組むことにより、各商品の競争力向上やグループ全体での付加価値の向上を図っています。

住生活関連機器 その他

- ベッド・寝装品
- シャワートイレ
- ガスヒートポンプエアコン (GHP)
- コージェネシステム
- ベルチェモジュール
- ファイバーレーザー
- ミシン
- 介護ベッド
- 住宅設備機器
- クライオポンプ
- 音響機器
- パイオ関連機器
- 刺しゅう機
- 電動車椅子
- 住宅リフォーム
- クライオクーラー

売上高および構成比率
(2007年度)

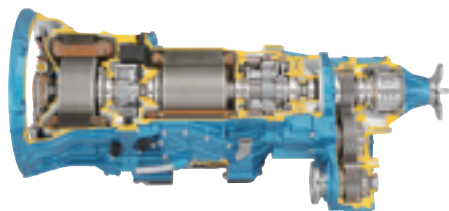
GHPやコージェネシステム、ベッド・寝装品、シャワートイレ、ミシン、リフォームサービス、介護・福祉機器などを取り扱っています。今後、環境問題の進展や高齢化などの社会構造の変化にともない、省エネルギーや健康で快適な暮らしに対するニーズは高まってくると予想されます。こうしたニーズを先取りし、社会やお客様にとって価値のある商品の開発に取り組んでいます。

事業別の概況

ドライブトレイン関連

2007年度売上高は1兆1,704億円（前期比15.4%増）となりました。これはアイシン・エイ・ダブリュの6速AT、アイシン・エーアイの6速MT等の販売が好調に推移したことによるものです。乗用車用ATの当期の販売台数は586万台で、シェアは専門メーカーとして世界ナンバーワンです。

New 4WD ハイブリッドトランスミッション (HR-10F)
世界初



ハイブリッドパワーを確実に路面に伝え、安定した走行を実現する新開発フルタイム4WDシステムを採用

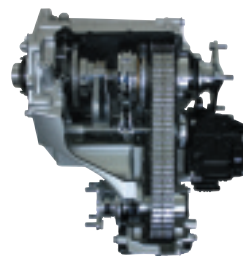
〈搭載車種〉

●レクサス「LS600h」、[LS600hL]

アイシン・エイ・ダブリュ

(トヨタ自動車㈱と共同開発)

New 高容量後輪駆動車用トランスファ (TN2)



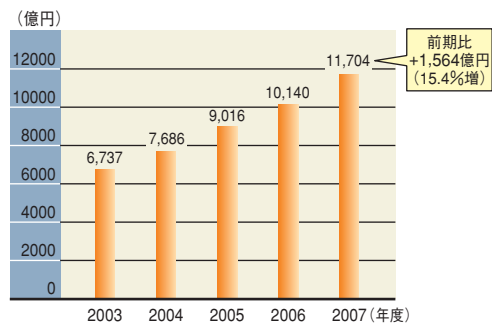
動力伝達の構造変更により、従来製品に比べトルク容量をアップ、且つ軽量・コンパクト化の両立を実現し燃費向上に寄与

〈搭載車種〉

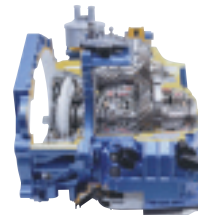
●トヨタ「ランドクルーザー200シリーズ」

アイシン・エーアイ

■売上高推移



拡販 中容量前輪駆動車用6速AT (TF-60SN)



中国の車両メーカーを中心にアジア地区での販売が拡大

〈搭載車種〉

●一汽フォルクスワーゲン「Magotan」

アイシン・エイ・ダブリュ

ブレーキ及びシャシー関連

2007年度売上高は5,351億円（前期比14.3%増）となりました。これは、アドヴィックスのブレーキシステム、ならびにブレーキコンポーネントの販売が国内外で好調に推移したことによるものです。

New クロールコントロール

世界初



車輪の空転を出来る限り小さくするように、エンジンとブレーキを最適に制御することにより、アクセルとブレーキの操作を自動化

〈搭載車種〉

- トヨタ「ランドクルーザー 200シリーズ」

アドヴィックス

(トヨタ自動車㈱と共同開発)

拡販 アクティブ リヤ ステアリングシステム



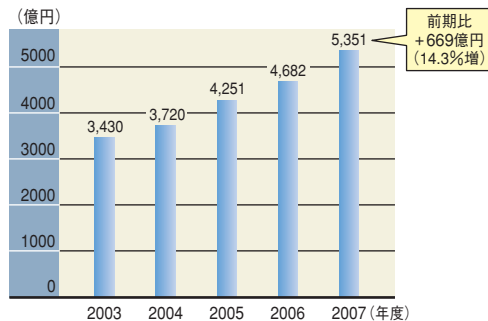
後輪を操舵し、車両旋回性と走行安定性を向上するシステム

〈搭載車種〉

- ルノー「ラグナ」

アイシン精機

■売上高推移



ボディ関連

2007年度売上高は4,775億円（前期比10.2%増）となりました。これは、アイシン精機のパワースライドドアシステムやシート、ドアハンドルなどの販売が好調に推移したことによるものです。

New スマートハンドル



押しボタンをなくし、ドアハンドルに「触れる」だけで施錠を可能にすることで、すっきりとしたデザインを実現

〈搭載車種〉

- トヨタ「クラウン」など

アイシン精機

拡販 軽自動車用パワースライドドアシステム



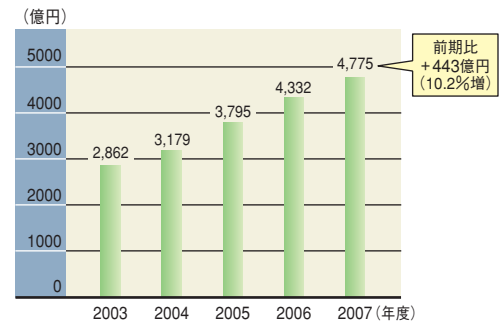
スライドドア内蔵の駆動ユニットを軽自動車用にさらに小型化、広い車室空間を確保

〈搭載車種〉

- ダイハツ「タント」
- スズキ「パレット」

アイシン精機

■売上高推移



事業別の概況

エンジン関連

2007年度売上高は2,599億円(前期比16.4%増)となりました。これは、アイシン精機をはじめ、北米、欧州でのエンジンフロントモジュール等のアルミ部品の販売拡大によるものです。

New ▶ ローターバルブ式可変インテークマニホールド



可変吸気部に吸気圧力損失の少ないローターバルブを採用し、エンジン出力を向上

〈搭載車種〉

- トヨタ「ノア」、「ヴォクシー」

アイシン精機

(MANN+HUNMEL社と共同開発)

New ▶ SUSエキゾーストマニホールド



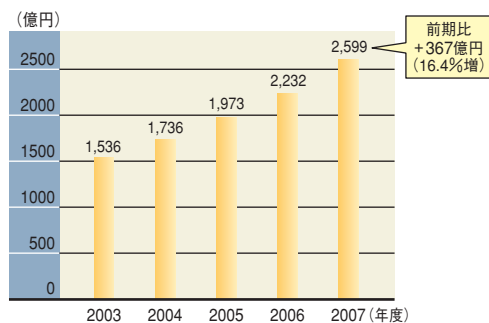
独立ロングブランチ化による高出力化(新長期排気ガス規制対応)と単管パイプ採用によるシンプル構造で低コスト化を実現

〈搭載車種〉

- トヨタ「ノア」、「ヴォクシー」

アイシン高丘

■売上高推移



情報関連

2007年度売上高は1,455億円(前期比3.9%増)となりました。これは、アイシン・エイ・ダブリュのカーナビゲーションシステムの販売が好調に推移したことによるものです。

New ▶ マップオンデマンド 一地図差分更新システム

世界初 目的地周辺の道路変更部分の地図データを、携帯電話等を通じてカーナビゲーションへ配信。常に更新された地図で経路検索・案内が可能になり、最適な道案内を提供

〈搭載車種〉

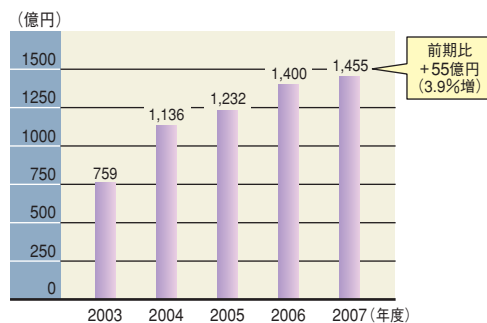
- トヨタ純正カーナビゲーションシステムに搭載

アイシン・エイ・ダブリュ

(トヨタ自動車(株)、(株)ゼンリン、(株)デンソー、(株)トヨタマップマスターと共同開発)



■売上高推移



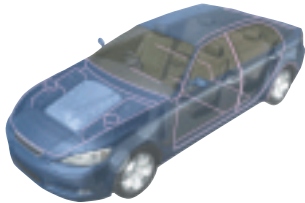
粗形材関連

粗形材関連分野においては、製品の機能・性能・強度を確保しつつ、小型・軽量化や低コスト化を実現していくことが求められており、アイシンは、さまざまな分野の粗形材技術を有している強みを活かし、材質置換や新工法・新材料など、新たな技術導入に積極的に取り組んでいます。

●粗形材関連における国内主要グループ各社の主な製品

会社名	主な担当製品
アイシン精機	プレス部品・アルミダイキャスト製品
アイシン高丘	鋳鉄・アルミダイキャスト製品
アイシン化工	樹脂成形・化成品
アイシン軽金属	アルミダイキャスト製品

拡販 低温短時間硬化型シーラー



低温短時間焼付での性能向上により省エネ、CO₂削減に貢献

〈搭載車種〉

- トヨタ「カローラ」

アイシン化工

住生活関連機器 その他

2007年度売上高は1,118億円（前期比12.0%増）となりました。当社は環境に優しい商品の実用化をめざし、次世代エネルギー機器として、燃料電池を使った家庭用コージェネレーションシステムなどの開発にも積極的に取り組んでいます。

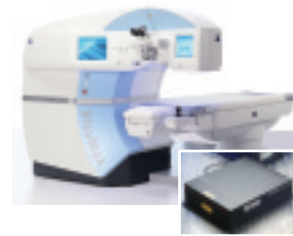
New ベッドギャラリー「ASLEEP東京」をオープン



関東地区でのシェア拡大を狙い、国内2番目となるベッド関連商品のショールームを六本木に開設
 <詳しくは>
<http://www.aisin-asleep.com>

アイシン精機

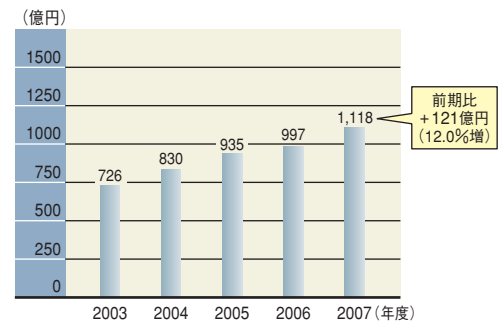
New レーザー技術を医療機器に応用



カール・ツァイス・メディテック社のLASIK（視力矯正）手術システム「VisuMax」にフェムト秒ファイバーレーザー「FCPA マイクロジュエル」の技術が搭載

アイシン精機

■売上高推移



*売上高については自動車関連分野の各々の製品に含まれています。

グローバル展開

アイシンはグローバル市場での事業拡大をめざし、世界各地で生産拠点の増強をはかるとともに、販売・開発体制を拡充しています。2007年度海外売上高は前期に比べ21%増の1兆385億円となり、海外拠点での売上高比率は前期に比べ2.4ポイント増加し、38.5%となりました。

北米

自動車メーカーの需要拡大に対応し、生産体制を増強

2007年度の北米における売上高は前期に比べ8.9%増の4,528億円となりました。これは、主に得意先生産増や得意先新車種立ち上げにともなう販売拡大によるものです。



アイシン・ケミカル・インディアナ

北米でのAT生産量の拡大にともなう新規受注に対応するため、インディアナ州に設立した新会社がAT用湿式摩擦材の生産を開始。



アイシン・マニファクチャリング・カリフォルニア

アメリカ西海岸地区でのドアフレームの受注拡大に対応し、カリフォルニア州に設立した新会社が生産を開始。

欧州 (トルコを含む)

オートマチックトランスミッションやカーナビゲーションの拡販により売上増

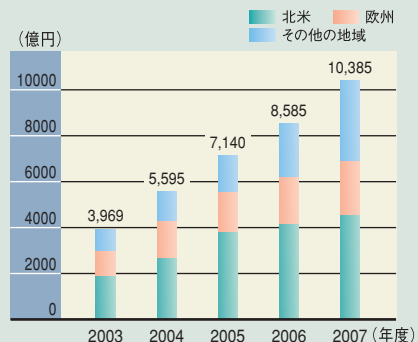
2007年度の欧州における売上高は前期に比べ12.6%増の2,308億円となりました。これは、主に欧州メーカー向けオートマチックトランスミッションとカーナビゲーションの売上増によるものです。



アイシン・ヨーロッパ・マニファクチャリング・チェコ

欧州地区でのエンジン部品の受注拡大に対応するため、生産能力増強を推進。

海外売上高の推移



その他の地域 (アジア他)

中国での売上が拡大

2007年度のその他の地域 (アジア他) における売上高は前期に比べ49.3%増の3,548億円となりました。これは、主に中国での得意先生産増や新規拠点の立ち上がりによるものです。



天津豊愛自動車シート部品

2007年5月より自動車用シートのフレームとシート用機能部品の生産を開始。

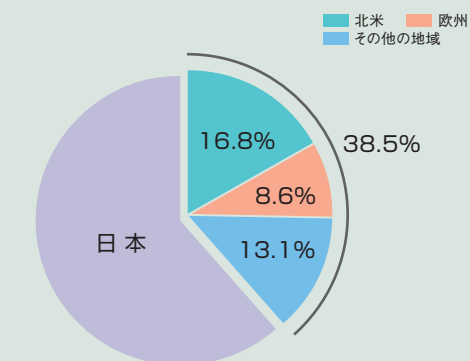


ナワロハ・インダストリー (タイ) 高丘六和 (天津) 工業 (中国)

新鑄造ラインをそれぞれ増設し、鑄造部品の生産能力を増強。

写真はナワロハ・インダストリー (タイ)

海外売上高比率 (%) 2007年度



日本

MTの生産工場を新設し、国内生産体制を強化

アイシン・エーアイは、マニュアルトランスミッション (以下、MT) の受注拡大に対応するため、本社工場に次ぐ国内二番目の生産拠点として愛知県幡豆郡吉良町に、前輪駆動車用MT専門の生産工場を新設しました。これにより、MTの国内生産能力は従来の約1.5倍へ大幅に拡大します。



社会・自然との共生

アイシンは人と社会と環境にやさしい企業をめざし、「良き企業市民」として信頼されるよう、地域に密着した活動に積極的に取り組んでいます。

地域発展・街づくり

さわやかコンサート

地域のみなさんや従業員の家族などを招待して、アイシンコムセンター（展示館）でコンサートを開催しています。



さわやかふれあい講座

近隣地域の社会福祉協議会など地域団体と協力して、ボランティアなど地域活動に参加するきっかけとなるような講座を実施しました。



自然・環境保護

タイ「AISIN子供の森」

社員の環境意識の高揚や、将来を担う現地の子供たちに環境保護活動を育んでもらうことをねらいに、年間2万本の植樹活動を実施しています。



富士山植樹活動

2003年から「富士山に緑を」を合言葉に、5合目付近の火山灰地にバッコヤナギの植樹をしています。



青少年育成

アイシンエコトピア

アイシン精機半田工場の敷地内に総合体験型環境学習施設「アイシンエコトピア」を整備し、子ども達が自然の役割やリサイクルなど、環境について体験学習が出来る場として提供しています。



バスケットボール指導

中学生バスケットボール大会「アイシンカップ」に毎年協賛し、「アイシン シーホース」選手によるバスケットボール教室を開催しています。



ものづくり

技能競技大会への挑戦

2008年3月、第45回技能五輪全国大会（青年技能者の技能レベルの日本一を競う技能競技大会）において、アイシンからは5組6名が銅賞、3名が敢闘賞を受賞しました。



創意工夫功労者賞の受賞

創意工夫によって職場での技術の改善向上に貢献した人に贈られる文部科学大臣表彰（創意工夫功労者）にグループ14社189名が選ばれました。また、愛知県内の受賞者の約6割をアイシングループ8社の152名が占め、都道府県別日本一に大きく貢献しました。

連結決算

■ 連結損益計算書の要旨

(単位:百万円)

科目	前期	当期
	2006年4月1日から 2007年3月31日まで	2007年4月1日から 2008年3月31日まで
売上高	2,378,611	2,700,405
売上原価	2,060,667	2,315,204
販売費及び一般管理費	186,909	204,716
営業利益	131,034	180,484
営業外収益	21,703	27,415
営業外費用	18,450	21,591
経常利益	134,287	186,309
税金等調整前当期純利益	134,287	186,309
法人税、住民税及び事業税	51,765	67,776
法人税等調整額	△ 6,989	△ 10,078
少数株主利益	22,622	36,956
当期純利益	66,889	91,654

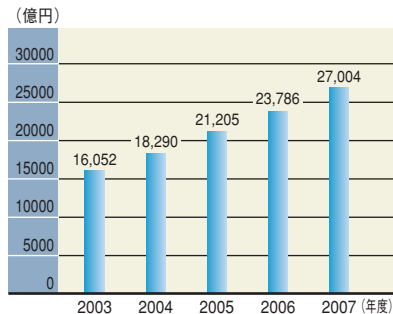
売上高

国内外での主要得意先の増産を背景に社会環境の変化やお客様のニーズを先取りした新商品の開発と拡販に努めた結果、前期に比べ13.5%増加しました。

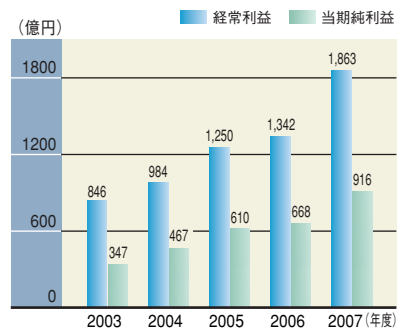
経常利益

売上の増加に加え、原価低減・工程の改善など経営全般にわたる合理化・効率化活動に取り組んだ結果、前期に比べ38.7%増加しました。

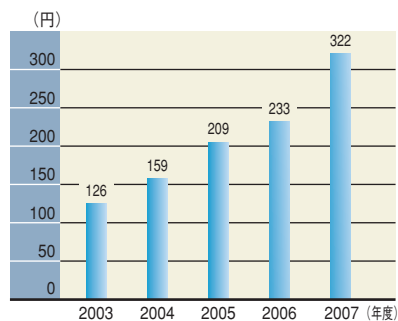
■ 売上高



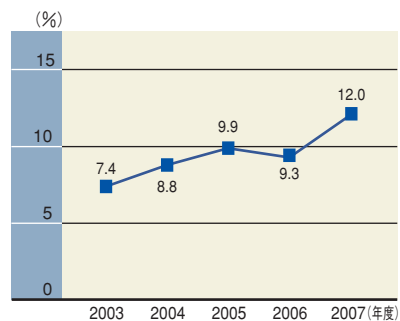
■ 経常利益/当期純利益



■ 1株あたり当期純利益



■ 自己資本利益率 (ROE)



■ 連結貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

科目	前期 (2007年3月31日)	当期 (2008年3月31日)	科目	前期 (2007年3月31日)	当期 (2008年3月31日)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	767,369	869,917	流動負債	679,070	704,280
現金及び預金	98,628	102,293	支払手形及び買掛金	359,873	372,058
受取手形及び売掛金	363,726	373,697	短期借入金及び社債	45,518	28,647
有価証券	38,622	95,636	その他	273,678	303,574
たな卸資産	168,762	175,360	固定負債	402,972	398,854
その他	98,360	123,675	社債	20,000	39,988
貸倒引当金	△ 732	△ 746	長期借入金	221,076	227,664
固定資産	1,270,526	1,227,810	繰延税金負債	72,627	40,312
●有形固定資産	839,192	875,773	退職給付引当金	86,978	88,251
建物及び構築物	240,051	253,377	その他	2,290	2,638
機械装置及び運搬具	419,876	429,533	負債計	1,082,042	1,103,134
その他	179,265	192,862	(純資産の部)		
無形固定資産	16,139	20,885	株主資本	602,382	662,106
投資その他の資産	415,194	331,150	資本金	45,049	45,049
投資有価証券	357,422	267,509	資本剰余金	57,891	58,825
長期貸付金	4,259	4,403	利益剰余金	501,009	578,969
繰延税金資産	24,228	28,369	●自己株式	△ 1,567	△ 20,738
その他	29,773	31,313	評価・換算差額等	156,361	105,016
貸倒引当金	△ 488	△ 445	その他有価証券評価差額金	145,136	88,130
合 計	2,037,896	2,097,727	繰延ヘッジ損益	△ 667	△ 1,184
			為替換算調整勘定	11,892	18,071
			新株予約権	167	601
			少数株主持分	196,941	226,867
			純 資 産 計	955,853	994,592
			合 計	2,037,896	2,097,727

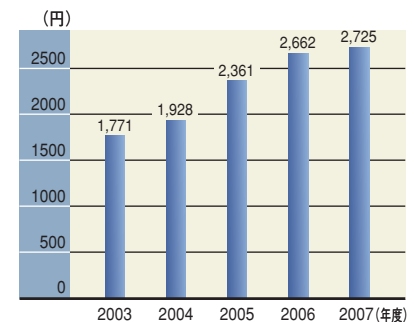
有形固定資産

有形固定資産は、365億円増加しました。生産技術力の向上をめざした「生産技術センター」やマニュアルトランスミッションを生産する「アイシン・エーアイ(株)吉良工場」の新設などが主な要因です。

自己株式

資本効率の向上を図るため、自己株式の取得を実施しました。

■ 1株あたり純資産



連結決算

■ 連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位:百万円)

科目	前期	当期
	2006年4月1日から 2007年3月31日まで	2007年4月1日から 2008年3月31日まで
● I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	228,402	299,247
● II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 236,614	△ 217,844
● III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	13,361	△ 27,682
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額	2,946	217
V. 現金及び現金同等物の増減額	8,094	53,937
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	128,212	136,307
VII. 現金及び現金同等物の期末残高	136,307	190,245

営業活動によるキャッシュ・フロー

- 税金等調整前当期純利益 +520億円
- 減価償却費 +222億円
- その他 △34億円

投資活動によるキャッシュ・フロー

- 定期預金・有価証券増減 +60億円
- 有形固定資産増減額 +186億円
- その他 △59億円

財務活動によるキャッシュ・フロー

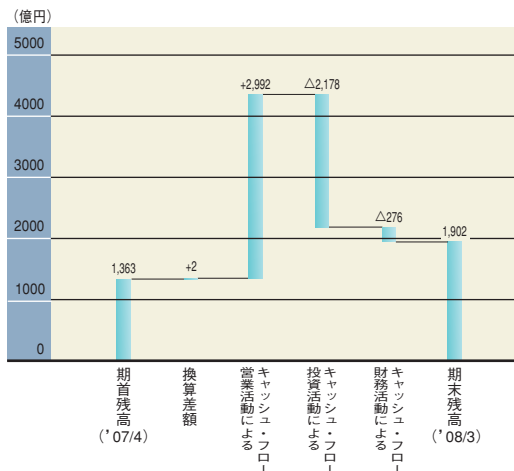
- 借入金増減額 △212億円
- 社債発行・償還 +56億円
- 自己株取得 △191億円
- その他 △63億円

研究開発費の推移

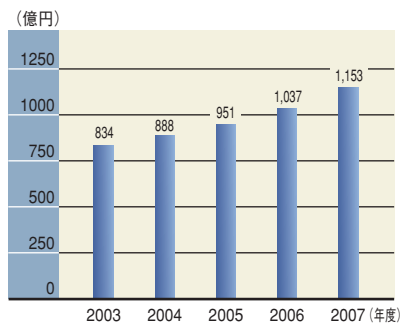
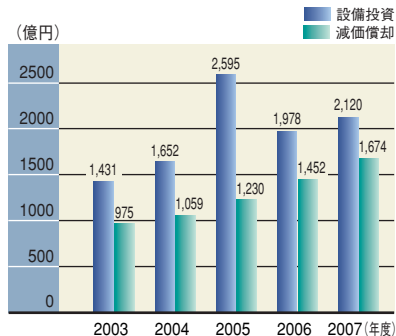
技術開発競争は一段と熾烈さを増しており、高い水準での技術開発投資が不可欠となっています。

一時的な環境変化や業績に左右されることなく、常に将来を見据えた技術開発に力を入れていくことを基本姿勢に、今後も積極的な投資をはかり、新しい商品をいち早く世に送り出すことで、みなさまのニーズに応えていきたいと考えています。

■ キャッシュ・フロー



■ 設備投資/減価償却



■ 損益計算書の要旨

(単位:百万円)

科 目	前 期	当 期
	2006年4月1日から 2007年3月31日まで	2007年4月1日から 2008年3月31日まで
売上高	786,966	878,996
売上原価	696,831	781,384
販売費及び一般管理費	61,596	62,033
営業利益	28,538	35,579
営業外収益	16,622	23,305
営業外費用	8,352	12,578
経常利益	36,808	46,306
税引前当期純利益	36,808	46,306
法人税、住民税及び事業税	12,200	15,100
法人税等調整額	△ 2,504	△ 3,461
当期純利益	27,112	34,667

■ 期末配当について

2008年4月25日開催の取締役会において、2008年3月31日の最終の株主名簿(実質株主名簿を含む)に記載または記録された株主または登録質権者に対して行う期末配当につき、次のとおり決議いたしました。

1. 期末配当金 1株につき36円
2. 支払い請求権の効力発生日および支払開始日
..... 2008年6月23日

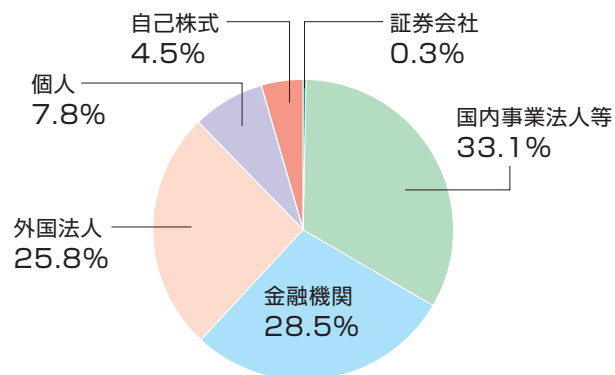
■ 貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

科 目	前 期	当 期	科 目	前 期	当 期
	(2007年3月31日)	(2008年3月31日)		(2007年3月31日)	(2008年3月31日)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	341,769	398,631	流動負債	279,883	316,010
現金及び預金	25,425	16,800	支払手形及び買掛金	111,515	123,883
受取手形及び売掛金	152,801	165,354	その他	168,367	192,127
有価証券	28,734	90,097	固定負債	347,577	348,022
たな卸資産	21,288	22,545	社債	20,000	39,988
その他	113,768	104,077	長期借入金	214,000	224,000
貸倒引当金	△ 248	△ 242	繰延税金負債	73,156	34,862
固定資産	727,287	656,531	退職給付引当金	38,003	37,201
有形固定資産	182,260	193,448	その他	2,417	11,970
建物及び構築物	66,878	68,111	負 債 計	627,461	664,033
機械装置及び運搬具	64,914	73,189	(純資産の部)		
その他	50,467	52,147	資本金	45,049	45,049
無形固定資産	3,978	7,870	資本剰余金	63,139	62,926
投資その他の資産	541,048	455,212	利益剰余金	233,429	253,484
投資有価証券	98,409	72,621	自己株式	△ 39,749	△ 56,081
関係会社株式・出資金	350,556	292,211	評価・換算差額金	139,558	85,148
その他	92,219	90,514	新株予約権	167	601
貸倒引当金	△ 137	△ 135	純 資 産 計	441,595	391,129
合 計	1,069,056	1,055,163	合 計	1,069,056	1,055,163

発行する株式の総数 700,000 千株
 発行済株式の総数 294,674 千株
 株主数 19,019 名

■株式の分布状況



■大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	議決権比率(%)
トヨタ自動車株式会社	65,558	23.3
株式会社豊田自動織機	19,658	7.0
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	14,216	5.1
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	12,293	4.4
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	11,591	4.1
日本生命保険相互会社	7,997	2.8
資産管理サービス信託銀行株式会社	6,866	2.4
東和不動産株式会社	6,344	2.3
三井住友海上火災保険株式会社	5,902	2.1
株式会社損害保険ジャパン	5,855	2.1

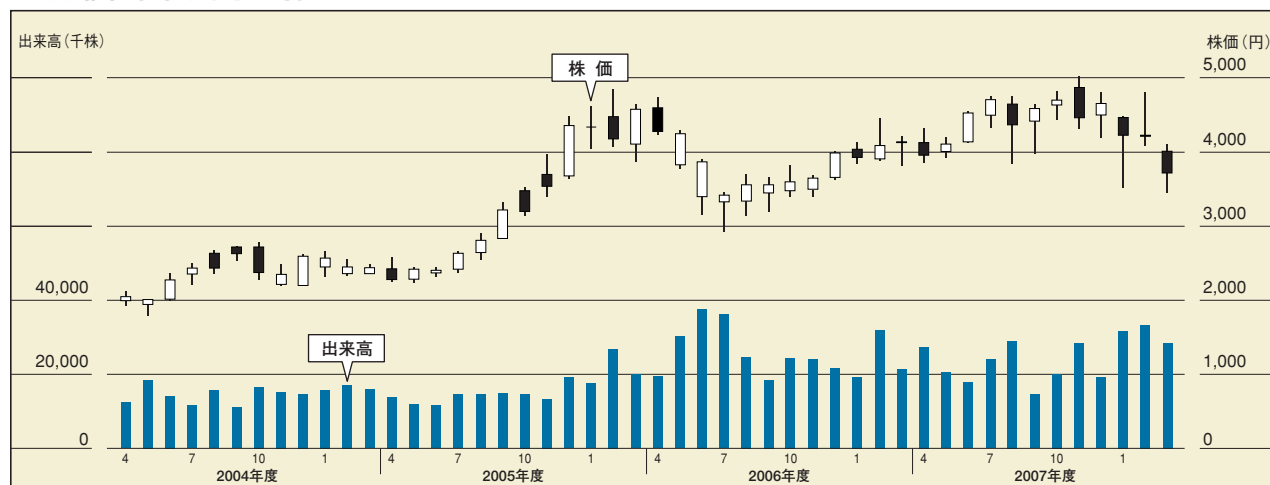
※上記のほか、当社が所有している自己株式13,197千株があります。

■1株当たり配当金

	2003	2004	2005	2006	2007(年報)
中間(円)	8.0	10.0	13.0	16.0	24.0
期末(円)	10.0	14.0	19.0	24.0	36.0
合計(円)	18.0	24.0	32.0	40.0	60.0

■株価・出来高の推移

証券コード:7259 単元株式数:100株



■会社概要 (2008年3月31日現在)

会社名	アイシン精機株式会社
本社所在地	〒448-8650 愛知県刈谷市朝日町2丁目1番地 TEL 0566-24-8441 (代表)
資本金	450億円
従業員数	単独 11,839人 連結 73,509人
連結対象会社	連結子会社 148社 (国内68社、海外80社) 持分法適用会社 11社

ホームページのご案内

<http://www.aisin.co.jp>

財務情報は「株主・投資家情報」のページをご覧ください。
また、EメールによるIR情報発信サービス「アイシン精機ニュースメール」を行っています。ご希望の方はアイシン精機ホームページ「株主・投資家情報」にアクセスしていただき、画面右側の「アイシン精機ニュースメール」申し込みページより、必要事項をご入力の上、ご登録ください。
みなさまのアクセスをお待ちしています。

■取締役および監査役 (2008年6月20日現在)

取締役会長	豊田 幹 司 郎	専務取締役	堀 場 正 樹	常勤監査役	林 稔
取締役社長	山 内 康 仁	専務取締役	名 倉 敏 一	常勤監査役	権 田 銀 弘
取締役副社長	藤 森 文 雄	専務取締役	西 村 淳 一	監 査 役	豊 田 章 一 郎
取締役副社長	川 田 武 司	専務取締役	新 井 益 治	監 査 役	濱 田 道 代
取締役副社長	奥 矩 雄	専務取締役	宮 本 豊	監 査 役	山 田 洋 久
取締役副社長	中 村 俊 一	専務取締役	藤 江 直 文		
		取 締 役	内 本 恒 男		
		取 締 役	山 村 慎 一 郎		
		取 締 役	周 防 雅 弘		
		取 締 役	谷 口 孝 男		
		取 締 役	石 川 敏 行		

■常務役員 (2008年6月20日現在)

石 山 正 二	島 貫 静 雄	三 矢 誠	岡 部 均	佐 々 木 庸 臣
森 田 隆 史	辻 村 健 次	水 島 寿 之	吉 田 強	杉 浦 正 泰
間 瀬 隆	榎 本 貴 志	加 藤 喜 昭	金 田 芳 彦	大 光 敬 史
瀬 川 儀 一	齋 藤 雅 康	赤 木 基 修	高 橋 清 一	後 藤 正 治
神 尾 哲 樹	宇 佐 見 一 美	高 橋 寛	矢 木 伸 介	

株式についてのご案内

■ 事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
■ 定時株主総会	毎年6月
■ 期末配当金支払い株主確定日	3月31日 なお、中間配当を行う場合は、9月30日
■ 単元株式数	100株
■ 証券コード	7259
■ 株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
■ 連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号
■ 取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 野村證券株式会社 全国本支店

株主インフォメーション

■ 株券の電子化についてのご案内

2009年(平成21年)1月(予定)に株券電子化が実施されると、上場会社の株券は無効となりますが、**株主様の権利は電子的に証券会社等の金融機関の口座で管理されます。**株券は本人名義になっていますか? 株券を紛失されていますか? **ご本人名義になっていない場合は、名義書換の手続きを、株券を紛失された場合は、再発行の手続きをお早めにお済ませください。**詳細は、同封のリーフレットをご覧ください。

お手元の株券は、お早めに証券会社を通じて「証券保管振替機構(ほふり)」に預け入れられることをおすすめします。

■ 期末配当金のお受け取りについて

今回お届けした第85期期末配当金領収証による配当金のお受け取り期間は平成20年7月31日(木)までとなっております。第85期期末配当金領収証をお持ちになって、お近くのゆうちょ銀行または郵便局でお早めにお受け取りください。

単元未満株式は、お早めに買取または買増請求されることをおすすめします。

■ 株式手続きについて

住所変更、名義書換、株券を紛失された場合の手続き、単元未満株式の買取および買増請求、その他株式に関するお問い合わせは、下記の三菱UFJ信託銀行の電話およびインターネットにて承っております。

お問い合わせ先 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行 証券代行部
電話(通話料無料) 0120-232-711(お問い合わせ:オペレーター対応)
0120-244-479(音声自動応答:用紙のご請求専用)
ホームページ <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

アイシン精機株式会社

〒448-8650 愛知県刈谷市朝日町2丁目1番地
電話(0566)24-8441(代表)